

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	・屋内で過ごす時間が多くなってしまう ・集団体操だけでは利用者それぞれに合わせたリハビリが行えない	生活の中にリハビリを取り込み、身体機能や認知機能の維持向上を図る	・各利用者のリハビリメニューを作成し、担当者を中心とした個別リハビリを実施する ・日々のリハビリ実施状況を一覧表で確認し週に3回程度運動が行えるよう管理する ・リハビリの中で筋力強化や外気浴、屋外歩行等を行う	6ヶ月
2	38	・各利用者に担当職員をつけているが具体的に担当が利用者に対し行うことが決まっておらず、個別に接する時間も少ない	リハビリを通して利用者と個別に接する時間を作り、利用者の健康状態の把握、コミュニケーションの時間作りをする	・運動時の利用者の反応から、健康状態や身体機能、認知機能を把握し、日々のケアや健康管理に役立てる	12ヶ月
3	41	・入居後から体重が増加傾向にある利用者が目立ってきている	利用者のBMI値を把握し、適正体重を目指した献立や食事量の調節をする	・栄養バランス、カロリーを計算して献立を考えていく ・利用者一人一人に合わせた食形態、食事量等の調節を行う ・見た目も楽しんでいただけるように盛り付けを工夫する	12ヶ月
4	27	・職員全体でケアプランに対する認識が不足している ・記録の内容に無駄が目立ち、記録に多くの時間を要している	記録用紙の見直しを行い、ケアプランに沿ったケアの提供を行う	・記録用紙の見直しを行い、簡潔明瞭な内容となるようにする ・記録を行う際にケアプランに沿ってケアを実施できたか確認し、必要に応じてケアの見直しを行えるようにする ・記録に要する時間を短縮し、個別ケアの時間を増やす	6ヶ月
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。